

第六分科会(新しい視点に立った国際的展開)の検討の進め方(改)

平成11年10月7日

・各回とも、基礎資料は、関係省庁の協力を得て事務局が準備。

第1回(9月10日(金)14:00~16:30)

○新しい長計策定に係る概要説明

○これまでの検討の紹介

・予備的検討に関する調査報告書

・国際協力専門部会報告書、現行長計の関連部分、分科会報告書

○国際協力推進の理念

・核不拡散を踏まえた、包括的・戦略的な政策の展開、多様な政策手段の活用

○今後の分科会の検討のスケジュール及び進め方について

第2回(10月7日(木)10:00~12:30)

○最近の国際情勢に対する認識

・原子力を巡る各国の動向(欧米、アジア地域、旧ソ連、中・東欧諸国)

・地球温暖化問題に関する動向

・世界の核不拡散、核軍縮の動向

○我が国の原子力分野における国際的対応の地域的展開について

・アジア地域における対応のあり方

第3回(11月11日(木)10:00~12:30)

○核不拡散に資する国際協力

・国際的な核不拡散体制強化への対応(NPT再検討会議、カットオフ条約等)

・核不拡散・核軍縮に資する具体的な施策(余剰兵器プルトニウム管理・処分への協力等)

・今後の保障措置のあり方

・研究開発(核不拡散抵抗性の高い技術、核物質管理・核物質計量技術等)

○国際機関の活用の方途(IAEA、OECD/NEA等)

・原子力発電の理解増進、バックエンド対策の推進

・余剰兵器プルトニウムのIAEAによる検認体制の確立

・国際機関の行う安全確保、原子力損害賠償制度整備のための活動支援

・人的貢献を通じた国際機関の活用

第4回(12月10日(金)14:00~16:30)

○我が国の原子力分野における国際的対応の地域的展開について

・米国との対応のあり方

・西欧との対応のあり方

・旧ソ連との対応のあり方

・中東欧との対応のあり方

第5回（2月下旬）

- 我が国の主要な原子力活動に係る国際的取組等
 - ・プルトニウム利用政策に対する国際的な理解の増進
 - ・使用済燃料再処理・管理を巡る対応
 - ・国際輸送の円滑な実施
 - ・原子力安全に関する協力の推進
 - ・研究開発協力（高速増殖炉関連技術、先端的研究開発、放射線利用）推進
- 分科会報告書骨子（案）について

第6回（3月下旬）

- 原子力平和利用・核不拡散シンポジウムの結果報告
- 分科会報告書（案）について

第7回（4月下旬）

- 分科会報告書（案）について

第8回（5月下旬）

- 分科会報告書のとりまとめ

◎各国の検討の進め方のイメージ（各回2時間半程度の会合を想定）

- 事務局からの説明は必要最小限とし（基本的に資料配布のみ）、委員からのプレゼンテーション及び意見交換を中心とする。具体的には、以下のとおり。
 - ・各回のテーマに関する現状と課題について、事務局より説明（10分程度）
 - ・分科会委員2名よりpoint of discussion, 問題意識につきプレゼンテーション（20分程度）
 - ・意見交換（120分程度）
 - ・前回議事録（要約版）の配布
- 原則として、資料は事前に委員に送付する（最低1週間前）。